

## 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の提言をうけて【談話】

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会  
事務局長 石川 聡一郎

### 1. 療養目的での宿泊施設の利用に反対する

提言では、症状が軽い陽性者等が、高齢者や基礎疾患がある人と同居していて家族内感染のおそれが高い場合は、接触の機会を減らすための方策として、宿泊施設等での療養を行うこととしている。宿泊需要の減退にともない、空間として利用できるからといって、宿泊施設を罹患者の療養施設として使用することは、そこで働くものの安全、施設のある地域に暮らす住民の心情、風評被害の発生などを考えると、慎重さに欠ける提言であり、反対する。

### 2. 大規模イベント等の取扱いは具体的な基準を

提言では、大規模イベント等の取扱いについて、主催者がリスクを判断して慎重な対応をすることが求められるとしているが、実態として主催者が自身で判断することは極めて困難である。すでに都道府県の間では、人の往来について見解の相違が発生しており、このような状況はデマを生み出す温床にもなりかねない。政府には、リスクの判断を地域や事業者任せとすることなく、公表された数値による科学的な検証に基づいた具体的な判断基準を策定するよう求める。

### 3. 感染拡大の阻止にむけ、従業員が休みやすい労働環境の整備を

提言では、事業者へのお願いのなかで、従業員の感染予防として、発熱などの風邪症状が見られるときや、子供の学校が休校になったときなどに、仕事を休みやすい環境の整備を挙げている。そのためには、従業員が所得の面でも安心して休みを取得できることが肝心である。政府には、企業の休みやすい環境づくりにあたり、従業員の所得が減少することのない取扱いの検討について、強く呼びかけるよう求める。

以上



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会(サービス連合)

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町9-6 坂町Mビル2階

Tel:03-5919-3261 Fax:03-5919-3264 URL:<http://www.net-stu.com>